

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成28年8月4日 (2016.8.4)

【公開番号】特開2015-169081(P2015-169081A)
 【公開日】平成27年9月28日 (2015.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報2015-060
 【出願番号】特願2014-42262(P2014-42262)
 【国際特許分類】

F 0 4 C 18/02 (2006.01)

【 F I 】

F 0 4 C 18/02 3 1 1 J

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月17日 (2016.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

密閉容器と、

固定台板に立設し歯先が固定鏡板面と連続した渦巻状の固定ラップを有する固定スクロール、

旋回台板の旋回鏡板面に立設する渦巻状の旋回ラップを有する旋回スクロール、

前記固定スクロールと前記旋回スクロールとで形成され、前記密閉容器外部から冷媒が吸い込まれる吸込室、及び、

前記固定スクロールと前記旋回スクロールとで形成され、前記吸込室と連通し、冷媒が圧縮される圧縮室、

を有する圧縮機構部と、

前記旋回スクロールの背面側に位置する背圧室と、

を備え、

前記吸込室と連通し、前記吸込室を挟んで前記圧縮室と反対側に延伸するように前記固定鏡板面又は前記旋回鏡板面に形成され、前記吸込室の圧力が導入される吸込圧導入溝と

、

前記固定鏡板面又は前記旋回鏡板面における、前記固定ラップの中心に対して前記吸込圧導入溝内のいずれかの位置と点対称となる位置に形成され、前記背圧室の圧力が導入される背圧導入溝と、

を有するスクロール圧縮機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明のスクロール圧縮機は、密閉容器と、固定台板に立設し歯先が固定鏡板面と連続した渦巻状の固定ラップを有する固定スクロール、旋回台板の旋回鏡板面に立設する渦巻状の旋回ラップを有する旋回スクロール、固定スクロールと旋回スクロールとで形成され、密閉容器外部から冷媒が吸い込まれる吸込室、及び、固定スクロールと旋回スクロールとで形成され、吸込室と連通し、冷媒が圧縮される圧縮室、を有する圧縮機構部と、旋回

スクロールの背面側に位置する背圧室と、を備え、吸込室と連通し、吸込室を挟んで圧縮室と反対側に延伸するように固定鏡板面又は旋回鏡板面に形成され、吸込室の圧力が導入される吸込圧導入溝と、固定鏡板面又は旋回鏡板面における、固定ラップの中心に対して吸込圧導入溝内のいずれかの位置と点対称となる位置に形成され、背圧室の圧力が導入される背圧導入溝と、を有する。